

「インクルーシブ教育士」 (発達障がい専門支援員)

学内認定資格 〈新設計画中〉 2020年度入学生より

インクルーシブは、「包み込む」という意味です。

インクルーシブ教育とは、障がいの有無に関わらず、互いを思いやりながら、適切な配慮や支援をすることによって、子どもたちが育ちあっていくことです。他の大学では学ぶことのできない、多様な障がいや療育に対しての知識や理解を深め、子どもに対する教育・保育技術の向上をさらに目指します。



A市保育園園長経験者

今、保育・教育現場では、特別な支援を必要とするお子さんが増えています。そうした子どもさんに出会ったとき、意識することなく寄り添えることは、保育士として、大きな自信や喜びにつながると思います。

この資格を採用試験の面接で自己アピールできれば、大きなポイントになると思います。通常の課程に付加して、こうした勉強をした職員が来てくれた、現場の大きな戦力になり、大歓迎です。



B市保育課職員

岡崎女子大学 子ども教育学部は、2020年度より
保育・教育現場のニーズに対応する、高い実践力と現場対応力を備えた

「インクルーシブ教育士（発達障がい専門支援員）」

養成を開始します！

岡崎女子大学 子ども教育学部 子ども教育学科は、開学から7年が経過し、3年連続で就職率は100%を達成、全国1位※となりました。卒業生の50%以上が保育職（公務員）に就いています。2019年3月卒業生の保育士就職率は72%、全国単独1位※

※朝日新聞出版（2019）AERAムック大学ランキング2020年版



岡崎女子大学